

#### 4 専修学校（専門課程）

(1) 表6に示すとおり、平成29年3月卒業者のうちの就職者総数は1,400人で、前年より75人減少している。そのうち県内に就職した者は948人で、前年より76人減少している。県内就職率は67.7%で、前年より1.7ポイント低下している。

県内就職率を専門分野別でみると、工業科、文化・教養科を除きいずれも60%以上の高い率になっている。

3ページ表3で示したとおり、県外就職者は452人で、前年より1人増加している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、九州・沖縄255人(56.4%)、関東115人(25.4%)、近畿42人(9.3%)、中国18人(4.0%)、四国13人(2.9%)、中部8人(1.8%)、北海道・東北1人(0.2%)の順となっている。

進学者総数は44人で、前年より1人減少している。県内進学率は63.6%で、前年より0.8ポイント低下している。

表6 専門分野別進路状況(専修学校[専門課程]) (単位:人、%)

区 分	総 数		工 業		農 業		医 療		衛 生	
	29年3月	28年3月	29年3月	28年3月	29年3月	28年3月	29年3月	28年3月	29年3月	28年3月
卒業生総数	1,525	1,624	213	255	49	55	813	801	111	184
就職者総数	1,400	1,475	207	249	48	54	753	718	101	177
就職率	91.8	90.8	97.2	97.6	98.0	98.2	92.6	89.6	91.0	96.2
うち県内就職者	948	1,024	121	148	37	51	517	494	84	138
県内就職率	67.7	69.4	58.5	59.4	77.1	94.4	68.7	68.8	83.2	78.0
進学者総数	44	45	-	-	1	1	16	14	1	-
進学率	2.9	2.8	-	-	2.0	1.8	2.0	1.7	0.9	-
うち県内進学者	28	29	-	-	-	-	12	8	-	-
県内進学率	63.6	64.4	-	-	-	-	75.0	57.1	-	-
一時的な仕事に就いた者	17	15	2	1	-	-	5	9	1	-
一時的な仕事に就いた者の率	1.1	0.9	0.9	0.4	-	-	0.6	1.1	0.9	-
うち県内居住者	13	14	2	1	-	-	4	8	1	-
県内居住率	76.5	93.3	100.0	100.0	-	-	80.0	88.9	100.0	-
その他総数	65	89	4	5	-	-	40	60	8	7
その他の率	4.3	5.5	1.9	2.0	-	-	4.9	7.5	7.2	3.8
うち県内居住者	63	56	4	5	-	-	38	39	8	4
県内居住率	96.9	62.9	100.0	100.0	-	-	95.0	65.0	100.0	57.1

#### つづき

区 分	教育・社会福祉		商業実務		服飾・家政		文化・教養	
	29年3月	28年3月	29年3月	28年3月	29年3月	28年3月	29年3月	28年3月
卒業生総数	76	75	90	91	14	13	159	150
就職者総数	66	68	86	86	5	4	134	119
① 就職率	86.8	90.7	95.6	94.5	35.7	30.8	84.3	79.3
うち県内就職者	54	61	69	76	3	4	63	52
県内就職率	81.8	89.7	80.2	88.4	60.0	100.0	47.0	43.7
② 進学者総数	7	5	2	1	-	-	17	24
進学率	9.2	6.7	2.2	1.1	-	-	10.7	16.0
うち県内進学者	5	4	1	1	-	-	10	16
県内進学率	71.4	80.0	50.0	100.0	-	-	58.8	66.7
③ 一時的な仕事に就いた者	-	-	2	2	-	1	7	2
一時的な仕事に就いた者の率	-	-	2.2	2.2	-	7.7	4.4	1.3
うち県内居住者	-	-	2	2	-	1	4	2
県内居住率	-	-	100.0	100.0	-	100.0	57.1	100.0
④ その他総数	3	2	-	2	9	8	1	5
その他の率	3.9	2.7	-	2.2	64.3	61.5	0.6	3.3
うち県内居住者	3	-	-	2	9	6	1	-
県内居住率	100.0	-	-	100.0	100.0	75.0	100.0	-

(2) 図8に示すとおり、平成29年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況をみると、医療、福祉が915人(65.4%、前年に比べ5.5ポイント上昇)で最も多く、次いで情報通信業104人(7.4%、同0.9ポイント低下)、生活関連サービス業、娯楽業89人(6.4%、同0.2ポイント低下)の順となっている。

県内就職者を産業別で見ると、図9に示すとおり、医療、福祉が665人(70.1%、前年に比べ6.1ポイント上昇)で最も多く、次いで生活関連サービス業、娯楽業76人(8.0%、同1.0ポイント上昇)、卸売業、小売業44人(4.6%、同1.0ポイント上昇)の順となっている。

図8 産業別就職状況の推移(専修学校[専門課程])

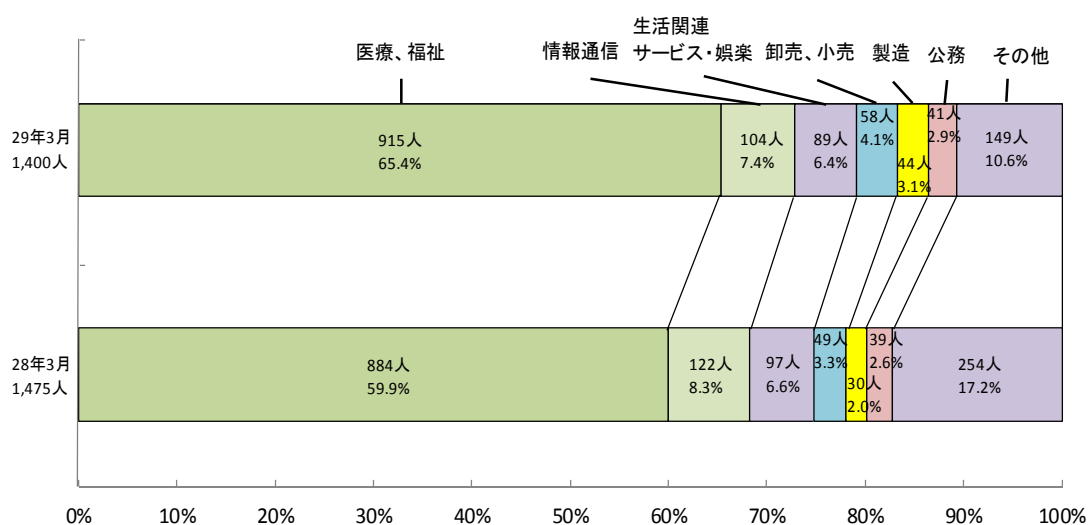


図9 産業別県内就職状況の推移(専修学校[専門課程])

